



マインドファースト通信

マインドファーストは、メンタルヘルスユーザー、家族、市民一般からなるNPO法人で、臨床心理士・精神保健福祉士・看護師・保健師・医師及びその他の支援者の協力のもとに、メンタルヘルスの推進と心のケアシステムの充実に向けて活動を行なっています。

マインドファースト事務局
〒760-0032 香川県高松市
本町9-3 白井ビル 403
本誌に関するお問合せは下記
へお願いします。
☎09028287021
<https://www.mindfirst.jp>

マインドファースト

NPO 取得 10 周年記念シンポジウム

ピアサポート

— 結論を急がない対話と豊かさ —

【日 時】 2019年2月3日(日)

13:30~16:40 (13:00 開場)

【会 場】 サポートホール高松 61 会議室
高松市サポート 2-1

【参加費】 無料

【対 象】 どなたでも参加いただけます。

【定 員】 150名

ピアサポートは、苦難を経験し、困難を乗り越えてきた人たちだからこそ、同じような立場にある人たちに対して、役に立つ支援や励ましや希望や助言を与えることができるという信念に基づいています。

メンタルヘルスユーザーをはじめ、地域で孤立した若者、ひきこもりの人たちなど、共通の問題を持つ人たち同士が、お互いを迎え入れ、お互いの存在や体験を認めあい、味わうかのように支えあう。そして、何かを決意し、行動する勇気をたたえあう。ピアサポートには、専門家からは得られない対話の場があります。これこそが「居場所」といえるでしょう。

いま私たちは、心を病んだ人や障害を抱えている人たちなど、これまで私たちが遠ざけてきたものとう向き合うかが問われています。この遠ざけてきた人たちの対話の中にこそ、私たちの思い込みを排し、私たちのさらなる可能性に気づく豊かさがあるのではないのでしょうか。

本シンポジウムはこのような観点に立ち、シンポジスト、参加者と共に「結論を急がない対話」の場を展開してみたいと思います。

【シンポジスト】

- ・ 企画者の立場 (マインドファースト) から
マインドファースト理事長 **島津昌代**

- ・ 当事者 (ピア) の立場から

おへんろの駅国分 **内海義夫 / 久保晶代**

グループホームネット香川 **新村智恵美**

マインドファースト **岡本幸子**

- ・ ピアサポートを支援する立場 (行政) から

香川県精神保健福祉センター所長 **岡崎由起美**

- ・ ピアサポートを支援する立場 (民間) から

竜雲メンタルクリニック精神保健福祉士 **山下紀子**

- ・ コーディネーター

マインドファースト **花房秀二 / 山奥浩司**

<主催> 認定 NPO 法人マインドファースト

お問合せ先 / TEL **090-2828-7021**

<後援> 香川県 高松市 香川県教育委員会 高松市教育委員会 公益社団法人香川県看護協会 香川県臨床心理士会 香川県精神保健福祉士協会 認定 NPO 法人グリーンワークかがわ NPO 法人グループホームネット香川 NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ

心の病から早く回復するための
プロジェクト募金

ご協力をお願い

私共は、様々な事情で心の健康を損なった人達が、適切な支援を受けて一日も早く健康を回復するための相談の場を設けたり、研修会や予防啓発のための活動を行ったり、心病人だ人達が自ら回復をはかるための活動を支援するといった活動を行っております。

この度、昨年に引き続き「心の病から早く回復するためのプロジェクト」と銘打って、香川県共同募金会のテーマ募金に参加することになりました。私共の掲げたテーマ・活動にご賛同くださる皆様方に

「寄付」という形で活動へのご支援ご参加をお願いする次第です。



心の病から早く回復するためのプロジェクト募金

心の健康を損なった人たちが、
家庭生活や社会生活を損なうことなく、
早期に健康を取りもどす

メンタルヘルスマネジメントを必要としている人の支援のために
あなたの力を貸してください
※「メンタルヘルスマネジメント」とは、心理面・精神面における健康のことです

募金目標額 50万円 共同募金会への寄付は、
税制上の優遇措置が受けられます。 募金期間 2019年1月1日～3月31日

ご協力いただける方は下記の払込取扱票でお振り込みをお願いします。

お問い合わせ先 認定NPO法人 マインドファースト 〒760-0032 香川県高松市本町9-3白井ビル403 TEL:090-2828-7021
Mail:info@mindfirst.jp ホームページ:http://www.mindfirst.jp
facebook :https://www.facebook.com/mindfirst.jp

何卒、私どもの活動趣旨へのご理解と活動推進のための経済的なご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

あなたのご支援で次のような活動ができます。

- 3,000 円のご支援が→ピアサポーターが行う電話相談 3 回分に変わります。
- 5,000 円のご支援で→ピアサポーターが行うグループミーティングを 2 回行うことができます。
- 10,000 円のご支援で→ピアサポーターが 10 回の付き添い支援を行うことができます。
- 20,000 円のご支援で→ピアサポーターが家族支援のための 6 回の研修を受けることができます。
- 30,000 円のご支援が→ピアサポーターが行う電話受理の仕事 90 日分に変わります。
- 50,000 円のご支援が→ピアサポーターがグループで受けるスキルアップ研修 5 回分に変わります。

ピアサポートは、苦難を経験し、困難を乗り越えてきた人たちだからこそ、同じような立場にある人たちに対して、役立つ支援や励ましや希望や助言を与えることができます。

募金は下記のサイトからお願いいたします。

<https://www.mindfirst.jp/tbokin.html>

第 174 回理事会報告

日 時:2018 年 12 月 10 日(月)19 時 00 分～21 時 00 分
場 所:マインドファースト事務局オフィス本町 高松市本町 9-3 白井ビル 403

事務連絡および周知事項, 報告事項:省略

議事の経過の概要及び議決の結果

第 1 号議案 ユーザーの居場所作り事業に関すること: 12/2, 12/9 14 時～16 時スタッフ 2 名, 参加者 2 名にて居場所を開催した。参加者より議題の提案があるなど居場所作り繋がっている。課題は女性スタッフ育成と開催場所の確保で、仏生山の空き家は売り物件のみで貸しはしないことや市中心部での開催希望も有るので、今後も検討していきたい。

第 2 号議案 NPO 法人認証取得 10 周年記念シンポジウムに関すること:①2 月 3 日(日)開催のシンポジウムのシンポジストに県知事の出席を依頼するため 11 月 29 日花房, 山奥両氏にて県庁を訪問し, 香川県健康福祉部障害福祉課担当者(三浦, 渡邊)と面談した。知事の参加が難しい場合は, ビデオレターでの参加か知事直筆文章での参加をお願いしたが, 担当者からは他団体とのバランスが有り難いこと, 事務担当課よりシンポジストを派遣するのが通例であるとの返事であった。知事への依頼結果は, 担当者よりマインドファーストにメール頂く事となった。②メインテーマ:「急がば回れー結論を急がない対話と豊かさー」は「急ぐ」が二度出てきて同語反復の感がある。テーマを「ーピアサポートー結論を急がない対話と豊かさー」に変更することについてはピアサポートが前面に出てシンポジウムの趣旨も伝わると意見が一致した。③シンポジストについて, おへんろの駅こくぶから内海義夫氏・久保晶代氏, マインドファーストから岡本幸子氏, 竜雲メンタルクリニック PSW 山下紀子氏の承諾を得た。グループホームネット香川は交渉中。

第 3 号議案 平成 30 年度香川県地域自殺対策強化事業に関すること:ホームページを見ておどろばに参加者があった。

第 4 号議案 テーマ募金に関すること:①完成したチラシは 12 月 29 日(土)10 時～発送準備作業予定でリストの確認を依頼中。②「心の病から早く回復するためのプロジェクト募金の振込用紙に寄附金募集趣意書を添付して郵送する。③募金の目標募金額は 50 万円。精神的健康を損なった人々が, 早期に適切な支援にアクセスし, 心の病から速やかに回復できるように, 心の病や社会的引きこもりから早く回復するための啓発キャンペーン活動と問題を抱えた人たちやその関係者に対して, 居場所を提供し, 家庭訪問を含めた早期の相談支援活動を行う事を目的とする。

第 5 号議案 ピアサポート活動のファクトシートとプロシールの作成に関すること:作成するプロシールの案についてはファミリーカウンセラー会議で検討するので意見があれば花岡理事へ連絡してほしい

第 6 号議案 1 月の理事会に関すること:1 月 14 日第 2 月曜日は祝日につき, 1 月 7 日(月)に開催することで了承された。

編集後記: 来年は, 平成最後の年を迎えるに当たり, 平成とは昭和のツケの清算の時代であったという見方もされています。昭和は, 経済至上主義の中で隔離収容型の精神科病院の増設が行われた時代でもありました。この分野は, いまだに清算が終わっていないとは言えません。古いジャパニーズ・スタンダードを排し, 新たな社会関係資本を構築していくことが求められています。権力者や専門家の知の体系や言説に左右されるのではなく, 当事者性を持った人たちが, 仲間意識(ピア)でつながっていく。対等で開かれた「対話」を通して新たな気づきが生まれる。そんな時代に行きたいと思っています。(H.)